

平成30年度 生駒市立病院 中間報告書

目 次

診療科目	1
病床数	2
人員体制	3
患者数	4
質の高い医療の提供	5
地域完結型の医療体制構築への寄与	8
救急医療の充実	10
小児医療の充実	12
災害時医療の確保	12
予防医療の啓発	12
市民参加による運営	13
環境に配慮した運営	13
収支	14

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業計画	平成 30 年度 中間報告	平成 30 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																								
<p>診療科目</p> <p>14 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科</p> <p>上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。</p>	<p>16 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) 診察時間 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00 (土曜日除く) 受付時間 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00 (土曜日除く) <p>既存の診療科について、常勤医師の確保やより高次、専門性の高い医療機関との連携体制の構築を図ります。</p> <p>また、診療科の追加標榜又は専門外来の開設については、市と連携して、市内の医療需要や患者動向の把握に努めます。</p>	<p>16 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) 診察時間 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00 (土曜日除く) 受付時間 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00 (土曜日除く) <p>既存の診療科について、常勤医師（内科）の確保やより高次、専門性の高い医療機関との連携体制（小児科、脳神経外科等における近畿大学医学部奈良病院や奈良県総合医療センターとの連携体制）の構築を図りました。</p> <p>また、診療科の追加標榜又は専門外来の開設については、市内小児科診療所や受診患者からの要望を勘案して、下半期に小児科のアレルギー外来を開設する予定です。</p> <p>レーザー外来において、平成 30 年 7 月から「赤あざ」の治療ができるようになりました。</p> <p>平成 30 年 8 月からフットケアリハビリが始まりました。</p>	<table border="1" data-bbox="1528 199 2062 262"> <tr> <td></td> <td>H30中間</td> <td>H29</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>診療科目数</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>0</td> </tr> </table> <p><その他></p> <table border="1" data-bbox="1528 378 2285 1081"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>開始時期</th> <th>診察時間</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合診療科（内科系、外科系を含めて総合的に診察）</td> <td>H27. 7～</td> <td>月～金 17:00～19:00</td> <td>1,418件</td> </tr> <tr> <td>大学の腎臓泌尿器科教授による特別外来</td> <td>H27. 9～</td> <td>月 2 回 PM (予約制)</td> <td>124件</td> </tr> <tr> <td>がん治療相談外来（放射線科）</td> <td>H27.10～</td> <td>週1回 AM</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ペイン（痛み）外来（麻酔科）</td> <td>H27.11～</td> <td>月1回 AM</td> <td>102件</td> </tr> <tr> <td>助産外来（産婦人科）</td> <td>H28. 4～</td> <td>週1回 PM</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フットケア外来（形成外科）</td> <td>H28. 6～</td> <td>週1回 AM</td> <td>287件</td> </tr> <tr> <td>不妊外来（男性）（腎臓泌尿器科）</td> <td>H28. 7～</td> <td>月 1 回 PM (予約制)</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>まぶた外来（形成外科）</td> <td>H28.12～</td> <td>週 1 回 AM (予約制)</td> <td>104件</td> </tr> <tr> <td>アンチエイジング外来（形成外科）</td> <td>H29. 4～</td> <td>週 1 回 PM</td> <td>76件</td> </tr> <tr> <td>レーザー外来（形成外科）</td> <td>H29. 8～</td> <td>週1回 AM</td> <td>125件</td> </tr> <tr> <td>乳腺・甲状腺外来（外科）</td> <td>H29.10～</td> <td>週1回 AM</td> <td>340件</td> </tr> </tbody> </table> <p><ペイン（痛み）外来> 腰痛、膝関節症、神経痛へのブロック注射等</p> <p><レーザー外来> 形成外科のレーザー外来で、従前から実施していた「黒あざ・青あざ」の治療に加え、平成 30 年 7 月から「赤あざ」の治療ができるようになりました。</p> <p><乳腺・甲状腺外来> 乳腺エコー、触診による検査を実施しており、今後導入予定の、マンモグラフィー検査と併用することで、高濃度乳房の検査など乳がん検診の精度が向上します。</p> <p><フットケアリハビリ> 平成 30 年 8 月からフットケアリハビリが始まり、足病変からの痛みや不具合の改善、不良姿勢や異常歩行の修正のための運動、立ち方、歩き方の指導ができるようになりました。</p> <p><高次、専門性の高い医療機関との連携実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 近畿大学医学部奈良病院：消化器内科、アレルギー内科、血管内科、小児科（NICU）、眼科、耳鼻咽喉科、神経内科等との連携 奈良県総合医療センター：脳神経外科、小児科、呼吸器外科、消化器内科、耳鼻咽喉科等との連携 		H30中間	H29	増減	診療科目数	16	16	0	内容	開始時期	診察時間	件数	総合診療科（内科系、外科系を含めて総合的に診察）	H27. 7～	月～金 17:00～19:00	1,418件	大学の腎臓泌尿器科教授による特別外来	H27. 9～	月 2 回 PM (予約制)	124件	がん治療相談外来（放射線科）	H27.10～	週1回 AM		ペイン（痛み）外来（麻酔科）	H27.11～	月1回 AM	102件	助産外来（産婦人科）	H28. 4～	週1回 PM		フットケア外来（形成外科）	H28. 6～	週1回 AM	287件	不妊外来（男性）（腎臓泌尿器科）	H28. 7～	月 1 回 PM (予約制)	7件	まぶた外来（形成外科）	H28.12～	週 1 回 AM (予約制)	104件	アンチエイジング外来（形成外科）	H29. 4～	週 1 回 PM	76件	レーザー外来（形成外科）	H29. 8～	週1回 AM	125件	乳腺・甲状腺外来（外科）	H29.10～	週1回 AM	340件	<p>○脳神経外科・小児科等においては、奈良県総合医療センターや近畿大学医学部奈良病院との連携体制がとれている。</p> <p>○糖尿病患者は主に内科で治療しているが、糖尿病からくる合併症患者については、循環器内科、血管外科、腎臓泌尿器科、形成外科（フットケア外来）と連携して治療しているなど院内の連携体制がとれている。</p> <p>○新生児の先天異常等における小児科と形成外科等他科への円滑な連携体制が整っている。</p> <p>課題 脳神経外科、整形外科及び小児科については、非常勤医師が外来診療を担当している曜日がある。患者の安心感や満足度を向上させるために、常勤医師を増員し、常勤医師が外来診療をする体制を整える必要がある。</p>
	H30中間	H29	増減																																																									
診療科目数	16	16	0																																																									
内容	開始時期	診察時間	件数																																																									
総合診療科（内科系、外科系を含めて総合的に診察）	H27. 7～	月～金 17:00～19:00	1,418件																																																									
大学の腎臓泌尿器科教授による特別外来	H27. 9～	月 2 回 PM (予約制)	124件																																																									
がん治療相談外来（放射線科）	H27.10～	週1回 AM																																																										
ペイン（痛み）外来（麻酔科）	H27.11～	月1回 AM	102件																																																									
助産外来（産婦人科）	H28. 4～	週1回 PM																																																										
フットケア外来（形成外科）	H28. 6～	週1回 AM	287件																																																									
不妊外来（男性）（腎臓泌尿器科）	H28. 7～	月 1 回 PM (予約制)	7件																																																									
まぶた外来（形成外科）	H28.12～	週 1 回 AM (予約制)	104件																																																									
アンチエイジング外来（形成外科）	H29. 4～	週 1 回 PM	76件																																																									
レーザー外来（形成外科）	H29. 8～	週1回 AM	125件																																																									
乳腺・甲状腺外来（外科）	H29.10～	週1回 AM	340件																																																									

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 30 年度 事業計画	平成 30 年度 中間報告	平成 30 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																												
病床数	病床数 210 床	(平成 31 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床	(平成 30 年 9 月 30 日) 実稼働可能病床数 210 床	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実稼働可能病床数</td> <td>210</td> <td>203</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>△ 3</td> </tr> <tr> <td>内科系</td> <td>87</td> <td>73</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td>91</td> <td>103</td> <td>△ 12</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>		H30中間	H29	増減	実稼働可能病床数	210	203	7	小児科	5	4	1	産婦人科	20	23	△ 3	内科系	87	73	14	外科系	91	103	△ 12	HCU	7	0	7	<p>○専任の常勤医師が常時当直可能となったことにより、HCUを開棟することができた。</p> <p>○HCUを開棟したことにより、緊急入院患者、術後患者、一般診療で状態が急変した患者への治療が充実している。</p> <p>○入院医療に対応できる内科の常勤医師を確保したことにより、内科の入院患者数が増えた。</p> <p>課題 病床利用率を向上させるため、各診療科の常勤医師を増員し、地域医療機関との連携を密にし、逆紹介患者及び紹介患者を増やす必要がある。</p>
		H30中間	H29	増減																													
実稼働可能病床数	210	203	7																														
小児科	5	4	1																														
産婦人科	20	23	△ 3																														
内科系	87	73	14																														
外科系	91	103	△ 12																														
HCU	7	0	7																														
ICU 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床	小児科 5 床 産婦人科 20 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 7 床 病棟編成 5 病棟、10 対 1 看護基準 急性期病床 210 床をフルオープンすることで、がん患者等の市外、県外へ流出傾向にある患者の市内回帰を促進します。 入院医療に対応できる常勤医師の確保に取り組み、既存病床の稼働率の向上を目指します。 また、重症患者の増加に対応すべく HCU の早期運用を目指します。	小児科 5 床 産婦人科 20 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 7 床 病棟編成 5 病棟、10 対 1 看護基準（一般） 4 対 1 看護基準（HCU）5/1 平成 30 年 4 月 1 日から許可病床 210 床をフルオープンしました。 がん登録件数 （平成 30 年 4 月～9 月）103 件 1 日平均病床利用率 （H30 年 9 月 62%） 平成 30 年 5 月 1 日から HCU 7 床を稼働し、平成 30 年 9 月末までの病床利用率は、85%となっています。	がん登録件数 （H29 年 4 月～9 月：92 件→H30 年 4 月～9 月 103 件）11 件増加 1 日平均病床利用率 （H29 年 9 月 73%→H30 年 9 月 62%） HCU 手術後または重症者集中治療 4 階西病棟 小児科・産婦人科と女性の一般患者を対象とした混合病棟 4 階東病棟 整形外科・腎臓泌尿器科 5 階西病棟 循環器内科・血管外科・形成外科・一般内科 5 階東病棟 外科 消化器内科 < HCU (High Care Unit) > ・準集中治療室 ・専任の常勤医師が常時院内に勤務していることが必要 ・看護師数 4 対 1 < 参考：HCU の稼働状況 > <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>延べ患者数</th> <th>5床以上使用日数</th> <th>病床利用率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>185</td> <td>29</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>174</td> <td>29</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>173</td> <td>28</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>189</td> <td>31</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>186</td> <td>29</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>907</td> <td>146</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table> 1 日最大稼働病床数（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日） 145 床（病床利用率：145 床÷210 床＝69%） 新入院患者数（平成 30 年 9 月）209 人 平均在院日数（平成 30 年 9 月）18.6 日	月	延べ患者数	5床以上使用日数	病床利用率(%)	5	185	29	85	6	174	29	83	7	173	28	80	8	189	31	87	9	186	29	89	合計	907	146	85		
月	延べ患者数	5床以上使用日数	病床利用率(%)																														
5	185	29	85																														
6	174	29	83																														
7	173	28	80																														
8	189	31	87																														
9	186	29	89																														
合計	907	146	85																														

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 30 年度 事業計画 (平成 31 年 3 月 31 日)		平成 30 年度 中間報告 (平成 30 年 9 月 30 日現在)		平成 30 年度 中間報告の補足説明						取組の評価・課題																																																																																																																																																																																																																																			
人員体制	<p>人員体制については、開院当初は、1日平均想定患者数(外来 300 名、入院 140 名と仮定)による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>25名</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>80名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>6名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td rowspan="2">3名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td rowspan="2">6名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>7名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>29名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>40名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>198名</td></tr> </tbody> </table>	職種	人数	医師	25名	看護師	80名	薬剤師	6名	理学療法士	3名	作業療法士	言語聴覚士	6名	放射線技師	検査技師	7名	栄養士	2名	看護助手	29名	事務職員等	40名	合計	198名	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常勤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3 名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>計</td><td>28 名</td></tr> </tbody> </table>	常勤		内科	2 名	消化器内科	2 名	循環器内科	2 名	外科	3 名	脳神経外科	2 名	整形外科	2 名	形成外科	2 名	小児科	2 名	腎臓泌尿器科	2 名	産婦人科	2 名	リハビリテーション科	1 名	放射線科	1 名	救急科	1 名	麻酔科	2 名	血管外科	1 名	皮膚科	1 名	計	28 名	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常勤換算数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>3.8名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1.2名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2.0名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>2.1名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>0.2名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>1.1名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2.0名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>1.1名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2.2名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>1.8名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0.0名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>1.0名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1.9名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>1.3名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>(2.0名)</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1.0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>23.7名</td></tr> </tbody> </table>	常勤換算数		内科	3.8名	消化器内科	1.2名	循環器内科	2.0名	外科	2.1名	脳神経外科	0.2名	整形外科	1.1名	形成外科	2.0名	小児科	1.1名	腎臓泌尿器科	2.2名	産婦人科	1.8名	リハビリテーション科	0.0名	放射線科	1.0名	救急科	1.9名	麻酔科	1.3名	血管外科	(2.0名)	皮膚科	1.0名	計	23.7名	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H30中間</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>常勤</th> <th>常勤換算</th> <th>常勤</th> <th>常勤換算</th> <th>常勤</th> <th>常勤換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>3</td><td>3.8</td><td>2</td><td>5.0</td><td>1</td><td>△ 1.2</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1</td><td>1.2</td><td>1</td><td>1.3</td><td>0</td><td>△ 0.1</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2</td><td>2.0</td><td>2</td><td>2.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>外科</td><td>2</td><td>2.1</td><td>2</td><td>2.3</td><td>0</td><td>△ 0.2</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>0</td><td>0.2</td><td>0</td><td>0.3</td><td>0</td><td>△ 0.1</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>1</td><td>1.1</td><td>1</td><td>1.0</td><td>0</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2</td><td>2.0</td><td>2</td><td>2.4</td><td>0</td><td>△ 0.4</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>1</td><td>1.1</td><td>1</td><td>1.4</td><td>0</td><td>△ 0.3</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2</td><td>2.2</td><td>2</td><td>2.3</td><td>0</td><td>△ 0.1</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>1</td><td>1.8</td><td>1</td><td>1.5</td><td>0</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>1</td><td>1.0</td><td>1</td><td>1.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>0</td><td>1.9</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>1</td><td>1.3</td><td>1</td><td>1.5</td><td>0</td><td>△ 0.2</td></tr> <tr><td>血管外科※</td><td>(2)</td><td>(2.0)</td><td>(2)</td><td>(2.0)</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1</td><td>1.0</td><td>1</td><td>1.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>計</td><td>19</td><td>23.7</td><td>18</td><td>24.0</td><td>1</td><td>△ 0.3</td></tr> </tbody> </table>		H30中間		H29		増減		常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	内科	3	3.8	2	5.0	1	△ 1.2	消化器内科	1	1.2	1	1.3	0	△ 0.1	循環器内科	2	2.0	2	2.0	0	0.0	外科	2	2.1	2	2.3	0	△ 0.2	脳神経外科	0	0.2	0	0.3	0	△ 0.1	整形外科	1	1.1	1	1.0	0	0.1	形成外科	2	2.0	2	2.4	0	△ 0.4	小児科	1	1.1	1	1.4	0	△ 0.3	腎臓泌尿器科	2	2.2	2	2.3	0	△ 0.1	産婦人科	1	1.8	1	1.5	0	0.3	リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	放射線科	1	1.0	1	1.0	0	0.0	救急科	0	1.9	0	0.0	0	1.9	麻酔科	1	1.3	1	1.5	0	△ 0.2	血管外科※	(2)	(2.0)	(2)	(2.0)	0	0.0	皮膚科	1	1.0	1	1.0	0	0.0	計	19	23.7	18	24.0	1	△ 0.3	<p>○内科の常勤医師の確保によって、呼吸器疾患や感染症について診療内容が充実している。</p> <p>○整形外科の非常勤医師1名を確保したことにより、火曜日から土曜日までの外来診察が可能となった。</p> <p>○常勤の救急救命士2名を採用したことにより、E Rの強化、他院等への搬送時の院内救急車の活用につながっている。</p> <p>○医師事務作業補助者により、医師の承認のもと、カルテの代行入力や診断書、紹介状等の各種文書作成等を行うことで、医師の業務負担軽減を進めている。</p> <p>○医療従事者の育児休業からの復職支援として時短勤務を導入するなど、出産、育児といったライフステージに応じた就労支援の取組がなされている。</p> <p>○多職種連携会議を隔月1回程度開催することにより、医師の業務負担軽減を進めている。</p> <p>課題 二次救急医療を充実させるため、脳神経外科、救急科の常勤医師を確保する必要がある。 周産期医療を充実させるため、産婦人科の常勤医師を増員する必要がある。 小児救急医療を充実させるため、小児科の常勤医師を増員する必要がある。</p>						
	職種	人数																																																																																																																																																																																																																																													
	医師	25名																																																																																																																																																																																																																																													
	看護師	80名																																																																																																																																																																																																																																													
	薬剤師	6名																																																																																																																																																																																																																																													
	理学療法士	3名																																																																																																																																																																																																																																													
	作業療法士																																																																																																																																																																																																																																														
	言語聴覚士	6名																																																																																																																																																																																																																																													
	放射線技師																																																																																																																																																																																																																																														
	検査技師	7名																																																																																																																																																																																																																																													
栄養士	2名																																																																																																																																																																																																																																														
看護助手	29名																																																																																																																																																																																																																																														
事務職員等	40名																																																																																																																																																																																																																																														
合計	198名																																																																																																																																																																																																																																														
常勤																																																																																																																																																																																																																																															
内科	2 名																																																																																																																																																																																																																																														
消化器内科	2 名																																																																																																																																																																																																																																														
循環器内科	2 名																																																																																																																																																																																																																																														
外科	3 名																																																																																																																																																																																																																																														
脳神経外科	2 名																																																																																																																																																																																																																																														
整形外科	2 名																																																																																																																																																																																																																																														
形成外科	2 名																																																																																																																																																																																																																																														
小児科	2 名																																																																																																																																																																																																																																														
腎臓泌尿器科	2 名																																																																																																																																																																																																																																														
産婦人科	2 名																																																																																																																																																																																																																																														
リハビリテーション科	1 名																																																																																																																																																																																																																																														
放射線科	1 名																																																																																																																																																																																																																																														
救急科	1 名																																																																																																																																																																																																																																														
麻酔科	2 名																																																																																																																																																																																																																																														
血管外科	1 名																																																																																																																																																																																																																																														
皮膚科	1 名																																																																																																																																																																																																																																														
計	28 名																																																																																																																																																																																																																																														
常勤換算数																																																																																																																																																																																																																																															
内科	3.8名																																																																																																																																																																																																																																														
消化器内科	1.2名																																																																																																																																																																																																																																														
循環器内科	2.0名																																																																																																																																																																																																																																														
外科	2.1名																																																																																																																																																																																																																																														
脳神経外科	0.2名																																																																																																																																																																																																																																														
整形外科	1.1名																																																																																																																																																																																																																																														
形成外科	2.0名																																																																																																																																																																																																																																														
小児科	1.1名																																																																																																																																																																																																																																														
腎臓泌尿器科	2.2名																																																																																																																																																																																																																																														
産婦人科	1.8名																																																																																																																																																																																																																																														
リハビリテーション科	0.0名																																																																																																																																																																																																																																														
放射線科	1.0名																																																																																																																																																																																																																																														
救急科	1.9名																																																																																																																																																																																																																																														
麻酔科	1.3名																																																																																																																																																																																																																																														
血管外科	(2.0名)																																																																																																																																																																																																																																														
皮膚科	1.0名																																																																																																																																																																																																																																														
計	23.7名																																																																																																																																																																																																																																														
	H30中間		H29		増減																																																																																																																																																																																																																																										
	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算																																																																																																																																																																																																																																									
内科	3	3.8	2	5.0	1	△ 1.2																																																																																																																																																																																																																																									
消化器内科	1	1.2	1	1.3	0	△ 0.1																																																																																																																																																																																																																																									
循環器内科	2	2.0	2	2.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																									
外科	2	2.1	2	2.3	0	△ 0.2																																																																																																																																																																																																																																									
脳神経外科	0	0.2	0	0.3	0	△ 0.1																																																																																																																																																																																																																																									
整形外科	1	1.1	1	1.0	0	0.1																																																																																																																																																																																																																																									
形成外科	2	2.0	2	2.4	0	△ 0.4																																																																																																																																																																																																																																									
小児科	1	1.1	1	1.4	0	△ 0.3																																																																																																																																																																																																																																									
腎臓泌尿器科	2	2.2	2	2.3	0	△ 0.1																																																																																																																																																																																																																																									
産婦人科	1	1.8	1	1.5	0	0.3																																																																																																																																																																																																																																									
リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																									
放射線科	1	1.0	1	1.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																									
救急科	0	1.9	0	0.0	0	1.9																																																																																																																																																																																																																																									
麻酔科	1	1.3	1	1.5	0	△ 0.2																																																																																																																																																																																																																																									
血管外科※	(2)	(2.0)	(2)	(2.0)	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																									
皮膚科	1	1.0	1	1.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																									
計	19	23.7	18	24.0	1	△ 0.3																																																																																																																																																																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">看護師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>外来部門</td><td>50 名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>97 名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>5 名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>13 名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>計</td><td>147 名</td></tr> </tbody> </table>	看護師		外来部門	50 名	入院部門	97 名	内) 准看護師	5 名	内) 助産師	13 名	内) 保健師	1 名	計	147 名	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">看護師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>外来部門</td><td>38.8名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>86.2名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>5.0名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>13.3名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0.0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>125.0名</td></tr> </tbody> </table>	看護師		外来部門	38.8名	入院部門	86.2名	内) 准看護師	5.0名	内) 助産師	13.3名	内) 保健師	0.0名	計	125.0名	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">看護師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>薬剤師</td><td>10.8名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>9.0名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1.0名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>2.0名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>8.0名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>7.0名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2.0名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>19.0名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>3.0名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>47.1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>108.9名</td></tr> </tbody> </table>	看護師		薬剤師	10.8名	理学療法士	9.0名	作業療法士	1.0名	言語聴覚士	2.0名	放射線技師	8.0名	検査技師	7.0名	栄養士	2.0名	看護助手	19.0名	臨床工学技士	3.0名	事務職員等	47.1名	計	108.9名	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">看護師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>外来部門</td><td>32</td><td>38.8</td><td>38</td><td>43.0</td><td>△ 6</td><td>△ 4.2</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>81</td><td>86.2</td><td>71</td><td>77.0</td><td>10</td><td>9.2</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>5</td><td>5.0</td><td>5</td><td>5.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>12</td><td>13.3</td><td>8</td><td>9.2</td><td>4</td><td>4.1</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>計</td><td>113</td><td>125.0</td><td>109</td><td>120.0</td><td>4</td><td>5.0</td></tr> </tbody> </table>	看護師		外来部門	32	38.8	38	43.0	△ 6	△ 4.2	入院部門	81	86.2	71	77.0	10	9.2	内) 准看護師	5	5.0	5	5.0	0	0.0	内) 助産師	12	13.3	8	9.2	4	4.1	内) 保健師	0	0.0	0	0.0	0	0.0	計	113	125.0	109	120.0	4	5.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>薬剤師</td><td>12 名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>10 名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>8 名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>7 名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>3 名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>15 名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>3 名</td></tr> <tr><td>事務職員他</td><td>50 名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>287 名</td></tr> </tbody> </table>	その他		薬剤師	12 名	理学療法士	10 名	作業療法士	2 名	言語聴覚士	2 名	放射線技師	8 名	検査技師	7 名	栄養士	3 名	看護助手	15 名	臨床工学技士	3 名	事務職員他	50 名	合計	287 名	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>薬剤師</td><td>10.8名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>9.0名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1.0名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>2.0名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>8.0名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>7.0名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2.0名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>19.0名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>3.0名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>47.1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>108.9名</td></tr> </tbody> </table>	その他		薬剤師	10.8名	理学療法士	9.0名	作業療法士	1.0名	言語聴覚士	2.0名	放射線技師	8.0名	検査技師	7.0名	栄養士	2.0名	看護助手	19.0名	臨床工学技士	3.0名	事務職員等	47.1名	計	108.9名	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>薬剤師</td><td>10</td><td>10.8</td><td>8</td><td>8.7</td><td>2</td><td>2.1</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>9</td><td>9.0</td><td>6</td><td>6.0</td><td>3</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1</td><td>1.0</td><td>1</td><td>1.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>2</td><td>2.0</td><td>1</td><td>1.0</td><td>1</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>8</td><td>8.0</td><td>7</td><td>7.0</td><td>1</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>7</td><td>7.0</td><td>6</td><td>6.0</td><td>1</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2</td><td>2.0</td><td>3</td><td>3.0</td><td>△ 1</td><td>△ 1.0</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>19</td><td>19.0</td><td>14</td><td>15.0</td><td>5</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>3</td><td>3.0</td><td>3</td><td>3.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>事務職員等※</td><td>43</td><td>47.1</td><td>42</td><td>44.5</td><td>1</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>計</td><td>104</td><td>108.9</td><td>91</td><td>95.2</td><td>13</td><td>13.7</td></tr> <tr><td>合計</td><td>236</td><td>257.6</td><td>218</td><td>239.2</td><td>18</td><td>18.4</td></tr> </tbody> </table>	その他		薬剤師	10	10.8	8	8.7	2	2.1	理学療法士	9	9.0	6	6.0	3	3.0	作業療法士	1	1.0	1	1.0	0	0.0	言語聴覚士	2	2.0	1	1.0	1	1.0	放射線技師	8	8.0	7	7.0	1	1.0	検査技師	7	7.0	6	6.0	1	1.0	栄養士	2	2.0	3	3.0	△ 1	△ 1.0	看護助手	19	19.0	14	15.0	5	4.0	臨床工学技士	3	3.0	3	3.0	0	0.0	事務職員等※	43	47.1	42	44.5	1	2.6	計	104	108.9	91	95.2	13	13.7	合計	236	257.6	218	239.2	18	18.4	<p>○医療従事者の確保の方法について(医師の確保) 特に常勤医師が不足している脳神経外科、小児科、整形外科、産婦人科、消化器内科、麻酔科の診療科を中心に、グループ他病院からの人事異動の要請、病院ホームページ等による勤務希望者の募集、大学等関係機関への継続した働きかけを行います。</p> <p>また、医師の業務負担の軽減を図るなど勤務環境の改善を行いました。(看護師、医療スタッフ等の確保) ・学生実習の受入 ・院内保育所の運営 ・時短勤務の導入等 ・研修制度の充実 新人看護職員研修 4/21 11名参加、5/12 11名参加 ・資格取得のための支援 看護補助者活用のための看護管理者研修、退院支援看護師養成研修、認知症対応力向上研修など</p> <p>リハビリテーション科については、理学療法の日・祝の実施を目指し、理学療法士の増員を図ります。また、作業療法士、言語聴覚士についても引き続き確保に取り組めます。</p>	<p>○医療従事者の確保について(常勤医師の確保) 常勤医師が不足している脳神経外科、産婦人科、小児科、整形外科等の診療科を中心に、グループ他病院からの人事異動の要請、病院ホームページ等による勤務希望者の募集等、大学等関係機関への継続した働きかけを行い、常勤医師を確保しました。</p> <p>また、医師の業務負担の軽減を図るなど勤務環境の改善を行いました。(看護師、医療スタッフ等の確保) ・学生実習の受入 ・院内保育所の運営 ・時短勤務の導入等 ・研修制度の充実 新人看護職員研修 4/21 11名参加、5/12 11名参加 ・資格取得のための支援 看護補助者活用のための看護管理者研修、退院支援看護師養成研修、認知症対応力向上研修など</p> <p>リハビリテーション科については、理学療法士3名を4月に、言語聴覚士1名を5月に採用し、土曜日、祝日が稼働可能となりました。</p>	<p>※1 血管外科2名の内、1名は循環器内科の医師が兼務 ※2 事務職員等のうち、4月採用の救急救命士2名が含まれています。 <常勤換算数> 常勤換算数=非常勤職員の勤務時間の合計÷常勤職員が勤務すべき時間 <常勤医師の確保> 勤務希望者の募集による確保 1名 グループ内転勤 1名 <平成30年9月30日現在の非常勤職員数> 医師56名、看護師20名、その他7名 <医師の業務軽減> ・医師事務作業補助者 6名(内科系1名、外科1名、整形外科1名、産婦人科1名、形成外科・小児科・皮膚科1名、フリー1名) ・多職種連携会議(医師、看護師、事務・コメディカル各責任者による業務分担の調整等)の開催 <看護師、医療スタッフ等の確保対策> ・院内保育所の設置 利用スタッフ数 18名 ・研修参加費用の補助 学会への出張旅費等 ・看護実習生の受入 357名 <専門的な知識と技術を持った看護師> 認定看護管理者1名、皮膚・排泄ケア認定看護師1名、がん化学療法看護認定看護師1名、慢性腎臓病療養指導看護師2名、透析技術認定士 2名、フットケア指導士1名 糖尿病療法指導士1名(延べ人数) <専門的な知識と技術を持った薬剤師> 漢方薬・生薬認定薬剤師1名、外来がん治療認定薬剤師1名、認定薬剤師1名 NST 専門療法士※ 1名 糖尿病指導療法士 1名 サプリメントアドバイザー 1名 (延べ人数) ※NST(栄養サポートチーム) 専門療法士とは、入院患者を対象に最良の栄養サポートを行う管理栄養士等が目指す資格のこと。</p>
看護師																																																																																																																																																																																																																																															
外来部門	50 名																																																																																																																																																																																																																																														
入院部門	97 名																																																																																																																																																																																																																																														
内) 准看護師	5 名																																																																																																																																																																																																																																														
内) 助産師	13 名																																																																																																																																																																																																																																														
内) 保健師	1 名																																																																																																																																																																																																																																														
計	147 名																																																																																																																																																																																																																																														
看護師																																																																																																																																																																																																																																															
外来部門	38.8名																																																																																																																																																																																																																																														
入院部門	86.2名																																																																																																																																																																																																																																														
内) 准看護師	5.0名																																																																																																																																																																																																																																														
内) 助産師	13.3名																																																																																																																																																																																																																																														
内) 保健師	0.0名																																																																																																																																																																																																																																														
計	125.0名																																																																																																																																																																																																																																														
看護師																																																																																																																																																																																																																																															
薬剤師	10.8名																																																																																																																																																																																																																																														
理学療法士	9.0名																																																																																																																																																																																																																																														
作業療法士	1.0名																																																																																																																																																																																																																																														
言語聴覚士	2.0名																																																																																																																																																																																																																																														
放射線技師	8.0名																																																																																																																																																																																																																																														
検査技師	7.0名																																																																																																																																																																																																																																														
栄養士	2.0名																																																																																																																																																																																																																																														
看護助手	19.0名																																																																																																																																																																																																																																														
臨床工学技士	3.0名																																																																																																																																																																																																																																														
事務職員等	47.1名																																																																																																																																																																																																																																														
計	108.9名																																																																																																																																																																																																																																														
看護師																																																																																																																																																																																																																																															
外来部門	32	38.8	38	43.0	△ 6	△ 4.2																																																																																																																																																																																																																																									
入院部門	81	86.2	71	77.0	10	9.2																																																																																																																																																																																																																																									
内) 准看護師	5	5.0	5	5.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																									
内) 助産師	12	13.3	8	9.2	4	4.1																																																																																																																																																																																																																																									
内) 保健師	0	0.0	0	0.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																									
計	113	125.0	109	120.0	4	5.0																																																																																																																																																																																																																																									
その他																																																																																																																																																																																																																																															
薬剤師	12 名																																																																																																																																																																																																																																														
理学療法士	10 名																																																																																																																																																																																																																																														
作業療法士	2 名																																																																																																																																																																																																																																														
言語聴覚士	2 名																																																																																																																																																																																																																																														
放射線技師	8 名																																																																																																																																																																																																																																														
検査技師	7 名																																																																																																																																																																																																																																														
栄養士	3 名																																																																																																																																																																																																																																														
看護助手	15 名																																																																																																																																																																																																																																														
臨床工学技士	3 名																																																																																																																																																																																																																																														
事務職員他	50 名																																																																																																																																																																																																																																														
合計	287 名																																																																																																																																																																																																																																														
その他																																																																																																																																																																																																																																															
薬剤師	10.8名																																																																																																																																																																																																																																														
理学療法士	9.0名																																																																																																																																																																																																																																														
作業療法士	1.0名																																																																																																																																																																																																																																														
言語聴覚士	2.0名																																																																																																																																																																																																																																														
放射線技師	8.0名																																																																																																																																																																																																																																														
検査技師	7.0名																																																																																																																																																																																																																																														
栄養士	2.0名																																																																																																																																																																																																																																														
看護助手	19.0名																																																																																																																																																																																																																																														
臨床工学技士	3.0名																																																																																																																																																																																																																																														
事務職員等	47.1名																																																																																																																																																																																																																																														
計	108.9名																																																																																																																																																																																																																																														
その他																																																																																																																																																																																																																																															
薬剤師	10	10.8	8	8.7	2	2.1																																																																																																																																																																																																																																									
理学療法士	9	9.0	6	6.0	3	3.0																																																																																																																																																																																																																																									
作業療法士	1	1.0	1	1.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																									
言語聴覚士	2	2.0	1	1.0	1	1.0																																																																																																																																																																																																																																									
放射線技師	8	8.0	7	7.0	1	1.0																																																																																																																																																																																																																																									
検査技師	7	7.0	6	6.0	1	1.0																																																																																																																																																																																																																																									
栄養士	2	2.0	3	3.0	△ 1	△ 1.0																																																																																																																																																																																																																																									
看護助手	19	19.0	14	15.0	5	4.0																																																																																																																																																																																																																																									
臨床工学技士	3	3.0	3	3.0	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																									
事務職員等※	43	47.1	42	44.5	1	2.6																																																																																																																																																																																																																																									
計	104	108.9	91	95.2	13	13.7																																																																																																																																																																																																																																									
合計	236	257.6	218	239.2	18	18.4																																																																																																																																																																																																																																									

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 30 年度 事業計画		平成 30 年度 中間報告		平成 30 年度 中間報告の補足説明						取組の評価・課題																																																																																																																																										
患者数	1 日平均患者数			1 日平均患者数			<入院>						<p>○内科の常勤医師の確保によって、外来診療体制が充実したことに伴い、内科の入院・外来患者数がともに増加している。</p> <p>○Facebook、病院内の情報発信モニター、病院だよりの発行、病院パンフレットのリニューアルなど、市民への周知の取組が充実してきている。</p> <p>○案内係が1名から2名に増員されたことによって、外来患者の円滑な誘導等患者の満足度の向上につながっている。</p> <p>課題 外来患者数は、計画どおり順調に伸びている一方、入院患者数が計画と比べると伸び悩んでおり、入院につながる救急患者、紹介患者数が伸び悩んでいる可能性がある。 脳神経外科の常勤医師を確保し、救急受入できる症例を増やす必要があり、また、地域の医療機関との病病・病診連携を進める必要がある。</p>																																																																																																																																									
		入院	外来		入院	外来	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H30中間</th> <th colspan="2">H29中間</th> <th colspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>3,392</td><td>18.5</td><td>3,164</td><td>17.3</td><td>228</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>930</td><td>5.1</td><td>792</td><td>4.3</td><td>138</td><td>0.8</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>981</td><td>5.4</td><td>2,826</td><td>15.4</td><td>△ 1,845</td><td>△ 10.0</td></tr> <tr><td>外科</td><td>4,487</td><td>24.5</td><td>3,155</td><td>17.3</td><td>1,332</td><td>7.2</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>4,020</td><td>22.0</td><td>5,507</td><td>30.1</td><td>△ 1,487</td><td>△ 8.1</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2,534</td><td>13.9</td><td>1,849</td><td>10.1</td><td>685</td><td>3.8</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>232</td><td>1.3</td><td>7</td><td>0.1</td><td>225</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>476</td><td>2.6</td><td>664</td><td>3.6</td><td>△ 188</td><td>△ 1.0</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>900</td><td>4.9</td><td>494</td><td>2.7</td><td>406</td><td>2.2</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>3,979</td><td>21.7</td><td>2,166</td><td>11.8</td><td>1,813</td><td>9.9</td></tr> <tr><td>計</td><td>21,931</td><td>119.9</td><td>20,624</td><td>112.7</td><td>1,307</td><td>7.2</td></tr> </tbody> </table>									H30中間		H29中間		増減		延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	内科	3,392	18.5	3,164	17.3	228	1.2	消化器内科	930	5.1	792	4.3	138	0.8	循環器内科	981	5.4	2,826	15.4	△ 1,845	△ 10.0	外科	4,487	24.5	3,155	17.3	1,332	7.2	整形外科	4,020	22.0	5,507	30.1	△ 1,487	△ 8.1	形成外科	2,534	13.9	1,849	10.1	685	3.8	小児科	232	1.3	7	0.1	225	1.2	腎臓泌尿器科	476	2.6	664	3.6	△ 188	△ 1.0	産婦人科	900	4.9	494	2.7	406	2.2	リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	血管外科	3,979	21.7	2,166	11.8	1,813	9.9	計	21,931	119.9	20,624	112.7	1,307	7.2																																							
		H30中間		H29中間		増減																																																																																																																																																
		延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均																																																																																																																																															
	内科	3,392	18.5	3,164	17.3	228	1.2																																																																																																																																															
	消化器内科	930	5.1	792	4.3	138	0.8																																																																																																																																															
	循環器内科	981	5.4	2,826	15.4	△ 1,845	△ 10.0																																																																																																																																															
	外科	4,487	24.5	3,155	17.3	1,332	7.2																																																																																																																																															
	整形外科	4,020	22.0	5,507	30.1	△ 1,487	△ 8.1																																																																																																																																															
	形成外科	2,534	13.9	1,849	10.1	685	3.8																																																																																																																																															
	小児科	232	1.3	7	0.1	225	1.2																																																																																																																																															
	腎臓泌尿器科	476	2.6	664	3.6	△ 188	△ 1.0																																																																																																																																															
	産婦人科	900	4.9	494	2.7	406	2.2																																																																																																																																															
	リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0																																																																																																																																															
	血管外科	3,979	21.7	2,166	11.8	1,813	9.9																																																																																																																																															
計	21,931	119.9	20,624	112.7	1,307	7.2																																																																																																																																																
						<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H30中間</th> <th colspan="2">H29中間</th> <th colspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>6,535</td><td>35.7</td><td>5,872</td><td>32.1</td><td>663</td><td>3.6</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1,226</td><td>6.7</td><td>984</td><td>5.4</td><td>242</td><td>1.3</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2,762</td><td>15.1</td><td>2,639</td><td>14.4</td><td>123</td><td>0.7</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3,555</td><td>19.4</td><td>2,732</td><td>14.9</td><td>823</td><td>4.5</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>448</td><td>2.4</td><td>449</td><td>2.5</td><td>△ 1</td><td>△ 0.1</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>8,004</td><td>43.7</td><td>5,661</td><td>30.9</td><td>2,343</td><td>12.8</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>3,669</td><td>20.1</td><td>2,675</td><td>14.6</td><td>994</td><td>5.5</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>733</td><td>4.0</td><td>364</td><td>2.0</td><td>369</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>1,922</td><td>10.5</td><td>1,736</td><td>9.5</td><td>186</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>2,151</td><td>11.8</td><td>1,615</td><td>8.8</td><td>536</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0</td><td>0.0</td><td>11</td><td>0.1</td><td>△ 11</td><td>△ 0.1</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>277</td><td>1.5</td><td>250</td><td>1.4</td><td>27</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>102</td><td>0.6</td><td>57</td><td>0.3</td><td>45</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>365</td><td>2.0</td><td>104</td><td>0.6</td><td>261</td><td>1.4</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>2,824</td><td>15.4</td><td>2,086</td><td>11.4</td><td>738</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>透析</td><td>1,140</td><td>6.2</td><td>970</td><td>5.3</td><td>170</td><td>0.9</td></tr> <tr><td>健診科・ドック</td><td>1,094</td><td>6.0</td><td>847</td><td>4.6</td><td>247</td><td>1.4</td></tr> <tr><td>計</td><td>36,807</td><td>201.1</td><td>29,052</td><td>158.8</td><td>7,755</td><td>42.3</td></tr> </tbody> </table>							H30中間		H29中間		増減		延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	内科	6,535	35.7	5,872	32.1	663	3.6	消化器内科	1,226	6.7	984	5.4	242	1.3	循環器内科	2,762	15.1	2,639	14.4	123	0.7	外科	3,555	19.4	2,732	14.9	823	4.5	脳神経外科	448	2.4	449	2.5	△ 1	△ 0.1	整形外科	8,004	43.7	5,661	30.9	2,343	12.8	形成外科	3,669	20.1	2,675	14.6	994	5.5	小児科	733	4.0	364	2.0	369	2.0	腎臓泌尿器科	1,922	10.5	1,736	9.5	186	1.0	産婦人科	2,151	11.8	1,615	8.8	536	3.0	リハビリテーション科	0	0.0	11	0.1	△ 11	△ 0.1	放射線科	277	1.5	250	1.4	27	0.1	麻酔科	102	0.6	57	0.3	45	0.3	血管外科	365	2.0	104	0.6	261	1.4	皮膚科	2,824	15.4	2,086	11.4	738	4.0	透析	1,140	6.2	970	5.3	170	0.9	健診科・ドック	1,094	6.0	847	4.6	247	1.4	計	36,807	201.1	29,052	158.8	7,755	42.3
	H30中間		H29中間		増減																																																																																																																																																	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均																																																																																																																																																
内科	6,535	35.7	5,872	32.1	663	3.6																																																																																																																																																
消化器内科	1,226	6.7	984	5.4	242	1.3																																																																																																																																																
循環器内科	2,762	15.1	2,639	14.4	123	0.7																																																																																																																																																
外科	3,555	19.4	2,732	14.9	823	4.5																																																																																																																																																
脳神経外科	448	2.4	449	2.5	△ 1	△ 0.1																																																																																																																																																
整形外科	8,004	43.7	5,661	30.9	2,343	12.8																																																																																																																																																
形成外科	3,669	20.1	2,675	14.6	994	5.5																																																																																																																																																
小児科	733	4.0	364	2.0	369	2.0																																																																																																																																																
腎臓泌尿器科	1,922	10.5	1,736	9.5	186	1.0																																																																																																																																																
産婦人科	2,151	11.8	1,615	8.8	536	3.0																																																																																																																																																
リハビリテーション科	0	0.0	11	0.1	△ 11	△ 0.1																																																																																																																																																
放射線科	277	1.5	250	1.4	27	0.1																																																																																																																																																
麻酔科	102	0.6	57	0.3	45	0.3																																																																																																																																																
血管外科	365	2.0	104	0.6	261	1.4																																																																																																																																																
皮膚科	2,824	15.4	2,086	11.4	738	4.0																																																																																																																																																
透析	1,140	6.2	970	5.3	170	0.9																																																																																																																																																
健診科・ドック	1,094	6.0	847	4.6	247	1.4																																																																																																																																																
計	36,807	201.1	29,052	158.8	7,755	42.3																																																																																																																																																
						<p>参考：達成率（上半期実績平均÷上半期計画平均）</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院：119.9 人÷143.4 人＝ 83.6% 外来：201.1 人÷181.5 人＝110.8% 																																																																																																																																																
						<p>< Facebook の掲載例 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 公開医療講座のお知らせ HCUオープンのお知らせ 災害訓練開催 健康フェスティバル開催 																																																																																																																																																
						<p>< 情報発信モニターの掲載例 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 入院患者への面会時間のお知らせ まぶた外来、予防接種等の案内 医療講演会の案内 ご意見箱の意見による改善事例 																																																																																																																																																
						<p>< 医療講演会の内容例 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 腎臓病教室 糖尿病について 高齢者の低栄養フレイルについて はじめてのフットケア（図書館） 																																																																																																																																																
						<p>< 病院内見学ツアー ></p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月第3土曜日実施（2回実施、15名参加）併せてAED講習会を実施しています。 																																																																																																																																																
						<p>< 地域の医療機関への情報提供等の内容例 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 新任医師の紹介、追加標榜診療科の紹介、外来予定表、医療講演会の案内など 																																																																																																																																																
	<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組</p> <p>常勤医師の確保、地域医療機関との連携推進のほか、市立病院の医療に関する必要な情報を積極的に提供することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。</p> <p>（市民への周知の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ、SNS（ツイッター、Face book）、病院だよりの発行、鉄道の中内広告等による広報活動の充実 医療講演会（自治会等各種団体への出張講座含む）の内容の充実 患者への案内窓口（来院・電話）対応職員の増員 <p>（地域の医療機関への周知の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市と連携した地域の医療機関への情報提供の推進 <ul style="list-style-type: none"> 病診連携懇話会の開催 			<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組</p> <p>常勤医師の確保、地域医療機関との連携推進のほか、市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供し、入院・外来患者数の増加を図り、入院患者数は伸び悩んだものの、外来患者数は計画どおり順調に伸びました。</p> <p>（市民への周知の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ等による広報活動の充実 Facebook による情報発信を開始 近鉄電車内への車内広告掲載 病院だよりの発行（平成 30 年 6 月、9 月） 病院パンフレットのリニューアル ダヴィンチ、レーザー治療のパンフレット作成 病院内見学ツアーの実施 <ul style="list-style-type: none"> 医療講演会 23 講座 参加者 1,008 名 出張講演会の募集を開始しています。 <ul style="list-style-type: none"> 患者への案内窓口（来院・電話）対応職員を 5 月から 2 名に増員 <ul style="list-style-type: none"> 電話受付の専属職員を配置 <p>（地域の医療機関への周知の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関への情報提供等訪問回数 106 件 <ul style="list-style-type: none"> 病診連携懇話会は来年度に開催予定 			<p>< 外来 ></p>																																																																																																																																															

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業計画	平成 30 年度 中間報告	平成 30 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																																																												
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。</p>	<p>基本方針 安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとって最適な治療・ケアを行います。 引き続き、腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みます。 患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数（全体） 約 1,750 件(外科 270 件 整形外科 250 件 形成外科 580 件 腎臓泌尿器科 120 件 産婦人科 120 件 血管外科 60 件 循環器内科 350 件)</p> <p>・分娩件数 120 件</p> <p>・産科交流会 ※母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。</p> <p>・医療機器等の整備 必要性・採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行います。 (導入予定機器) ・乳房 X 線撮影装置 ・未稼働手術室関連医療機器等（手術台、モニター、麻酔器等） ・脳神経外科手術用電子顕微鏡等</p>	<p>患者中心の市民満足度の高い、質の高い医療を目指し、最新の設備を配置し、患者にとって最適な治療・ケアを行いました。 腹腔鏡下手術・胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。 患者の意見に基づき、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、改善を行いました。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数（全体） 753 件 (循環器内科を除いた場合は、645 件)</p> <p>・分娩件数 77 件</p> <p>・産科交流会 5/26 26 組 51 名の家族が参加 12 月も予定</p> <p>・多職種連携会議 隔月 1 回開催</p> <p>・医療機器等の整備 (導入機器) ・形成外科にレーザー機器を導入 ・手術室の稼動に伴い、手術台、麻酔器、モニターを導入</p> <p>※乳房 X 線撮影装置は、今年度中に導入予定</p>	<p><科目別手術件数></p> <table border="1" data-bbox="1561 205 2237 478"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>放射線</td><td>7</td><td>6</td><td>1</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>5</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>外科</td><td>141</td><td>86</td><td>55</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>101</td><td>109</td><td>△ 8</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>319</td><td>255</td><td>64</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>19</td><td>24</td><td>△ 5</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>41</td><td>39</td><td>2</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>12</td><td>29</td><td>△ 17</td></tr> <tr><td>合計</td><td>645</td><td>549</td><td>96</td></tr> </tbody> </table> <p>・手術件数 645 件 上記以外の件数として、心臓カテーテル：75 件、PCI：33 件、内視鏡的手術：100 件</p> <p>・手術室 7 室のうち 4 室稼動</p> <p>・主な外科手術例 結腸切除術、腹腔鏡下胆のう摘出術など</p> <p>・主な整形外科手術例 骨折観血的手術、経皮的後方固定術など</p> <p>・主な形成外科手術例 皮膚皮下腫瘍摘出術、眼瞼下垂術など</p> <p><腹腔鏡下手術> (胸腔鏡下手術を含む)</p> <table border="1" data-bbox="1561 974 2065 1045"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>件数</td><td>54</td><td>15</td><td>39</td></tr> </tbody> </table> <p><ダ・ヴィンチ手術></p> <table border="1" data-bbox="1561 1096 2065 1167"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>件数</td><td>6</td><td>4</td><td>2</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 対応症例は、前立腺がん全摘出のみ</p> <p><分娩件数></p> <table border="1" data-bbox="1561 1302 2101 1478"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>県内</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> 市内</td><td>56</td><td>29</td><td>27</td></tr> <tr><td> 市外</td><td>9</td><td>5</td><td>4</td></tr> <tr><td> 計</td><td>65</td><td>34</td><td>31</td></tr> <tr><td>県外</td><td>12</td><td>9</td><td>3</td></tr> <tr><td>合計</td><td>77</td><td>43</td><td>34</td></tr> </tbody> </table> <p><助産制度の実績></p> <table border="1" data-bbox="1561 1541 2065 1612"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>件数</td><td>3</td><td>3</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <p>※市立病院は、児童福祉法第 36 条に規定する助産施設 ・ハイリスク分娩への対応は、奈良県総合医療センターと連携を取っています。通常の未熟児出産は市立病院で対応可能。</p> <p><DPC 病院> 平成 30 年 4 月に DPC※準備病院の届出をし、平成 32 年 4 月から DPC 対象病院となる予定です。 ※DPC:Diagnosis(診断) Procedure(行為) Combination(組合せ)の略で、急性期病院を中心に導入が進められている包括払い制度のことです。</p>		H30中間	H29中間	増減	放射線	7	6	1	皮膚科	5	1	4	外科	141	86	55	整形外科	101	109	△ 8	形成外科	319	255	64	腎臓泌尿器科	19	24	△ 5	産婦人科	41	39	2	血管外科	12	29	△ 17	合計	645	549	96		H30中間	H29中間	増減	件数	54	15	39		H30中間	H29中間	増減	件数	6	4	2		H30中間	H29中間	増減	県内				市内	56	29	27	市外	9	5	4	計	65	34	31	県外	12	9	3	合計	77	43	34		H30中間	H29中間	増減	件数	3	3	0	<p>○肺がんの胸腔鏡下手術など手術範囲の拡大、手術可能な症例が増え、低侵襲な手術が増加している。</p> <p>○ダ・ヴィンチ手術について、病院日より、パンフレットへ掲載し、積極的な PRを図っている。 また、胃がん等の消化器がんや肺がんなど健康保険の適用疾患が増えてきており、今後、外科、婦人科の適用症例を増やすよう市立病院でも対応する準備をしている。</p>
	H30中間	H29中間	増減																																																																																													
放射線	7	6	1																																																																																													
皮膚科	5	1	4																																																																																													
外科	141	86	55																																																																																													
整形外科	101	109	△ 8																																																																																													
形成外科	319	255	64																																																																																													
腎臓泌尿器科	19	24	△ 5																																																																																													
産婦人科	41	39	2																																																																																													
血管外科	12	29	△ 17																																																																																													
合計	645	549	96																																																																																													
	H30中間	H29中間	増減																																																																																													
件数	54	15	39																																																																																													
	H30中間	H29中間	増減																																																																																													
件数	6	4	2																																																																																													
	H30中間	H29中間	増減																																																																																													
県内																																																																																																
市内	56	29	27																																																																																													
市外	9	5	4																																																																																													
計	65	34	31																																																																																													
県外	12	9	3																																																																																													
合計	77	43	34																																																																																													
	H30中間	H29中間	増減																																																																																													
件数	3	3	0																																																																																													

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業計画	平成 30 年度 中間報告	平成 30 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題
	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学医学部奈良病院）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実</p> <p>脳卒中 近畿大学医学部奈良病院、市立奈良病院との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の確保</p> <p>急性心筋梗塞 緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制の確保</p> <p>糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の実施</p> <p>○患者満足度の向上について ・入院・外来患者アンケート調査の実施</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査の結果、ご意見箱の意見及びそれに対する改善の取組について、ホームページ・情報モニター・病院だよりで公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施</p> <p>・待ち時間解消策の実施（自動精算機の利用促進）</p>	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学医学部奈良病院）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制を確保している。 近畿大学医学部奈良病院 15 件</p> <p>脳卒中 近畿大学医学部奈良病院、市立奈良病院、奈良県総合医療センターとの連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断できる体制を確保している。 近畿大学医学部奈良病院 15 件 市立奈良病院 1 件 奈良県総合医療センター 9 件</p> <p>急性心筋梗塞 緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制を確保している。 緊急入院 6 件</p> <p>糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施している。</p> <p>○患者満足度の向上について ・退院時に患者アンケート調査を実施しました。（回答総数 634 件）</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の意見による改善の取組について、1 階中央待合室の掲示板に掲示するとともに、情報発信モニターに掲載しました。また、生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 下半期実施予定</p> <p>・待ち時間解消策の実施（自動精算機の利用促進） 患者への案内窓口（来院・電話）対応職員を 5 月から 2 名に増員</p>	<p><がん> ・手術件数は、平成 29 年上半期 38 件、平成 30 年は 58 件と増加しています。</p> <p>・がん患者の治療により生じる合併症や機能障害に対する早期回復等を図る取組として、平成 30 年 2 月から、医師、看護師、リハビリスタッフの 3 名のセラピストによるがんリハビリテーションを開始しました。</p> <p><脳卒中> ・脳卒中については、奈良県総合医療センター脳神経外科部長が非常勤医師として外来診療にあたっており、連携につながっています。</p> <p><急性心筋梗塞> ・PCI とは、Percutaneous Coronary Intervention の略称で、風船やステント（金属製チューブ）を使い、狭窄した冠動脈を広げて血流を改善させる心臓カテーテル治療のことです。</p> <p><糖尿病> ・内科、循環器内科、形成外科及び血管外科の領域において、かかりつけ医と連携しています。（診療情報提供書によって情報提供いただいています。）</p> <p><アンケートのご意見> ・雰囲気や先生、看護師が明るく、快適に過ごせた。 ・丁寧に耳を傾けてもらい、不安が解消された。 ・受付から受診まで付き添ってもらい、ありがたかった。 ・親切に接していただいた。 ・病棟の乾燥機の位置が高く使いにくい。（看護師やスタッフが要請によりお手伝いすることにしました。）</p> <p><ご意見箱の対応例> ・エレベーター乗降口付近に各フロアの診療科案内図を設置 ・地下駐車場に駐車場所の案内を表示 ・デイルーム 4 ヶ所に時計を設置 ※ご意見箱の意見及び改善の取組について、下半期中に、ホームページでの公表を予定しています。</p>	<p>○がん治療に関しては、外科手術後の放射線治療など地域がん診療連携拠点病院（近畿大学医学部奈良病院）との連携が行われている。</p> <p>課題 がん治療に関して、今後は、市立病院で放射線治療器を導入し、集学的治療体制の整備を目指す。</p> <p>○脳卒中については、近畿大学医学部奈良病院、市立奈良病院、奈良県総合医療センターと連携し、検査できる体制を確保している。</p> <p>課題 急性心筋梗塞について、内科的治療(PCI)は行っているが、外科的治療について、近畿大学医学部奈良病院の心臓血管外科と連携していく必要がある。</p> <p>○糖尿病については、かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施している。</p> <p>○ご意見箱の設置により、患者や利用者の声に耳を傾け、迅速に対応することで、市民満足度の向上につなげていく仕組みができています。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業計画	平成 30 年度 中間報告	平成 30 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題								
<p>医療における安全管理に対する取組</p> <p>●安全管理マニュアルの策定について 各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。</p> <p>●医療事故に対する対応について 発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM（メディカルリスクマネジメント）委員会で分析したうえで、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行ないます。</p> <p>●院内感染対策について 感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行ないます。</p>	<p>（医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等についても引き続き検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会（毎月 1 回開催） ・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催） ・医療安全ラウンド（毎月 1 回開催） ・医療安全勉強会（年 2 回開催） <p>（医療事故に対する対応について） 医療事故発生時は、引き続き次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の安全確保と救命処置を最優先します。 ・病院内における事故等の報告を速やかに行います。 ・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。 ・重大な医療事故の場合は、保健所、警察署等へ速やかに報告・届出を行います。 ・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。 <p>（院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催） ・ICT 合同カンファレンス（偶数月参加） ・ICT ラウンド（毎週 1 回開催） ・感染勉強会（年 2 回開催） 	<p>○医療における安全管理について（医療安全管理体制について） 市民の生命と健康を守る観点から、医療安全管理規程に基づき、医療安全管理委員会や院内感染対策委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有など、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等についても、下半期に発行予定の病院年報にインシデント・アクシデント件数を包括的に公表する方向で検討しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会（毎月 1 回開催） ・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催） ・医療安全勉強会 10 月 E-ラーニングによる個別講習を開催予定 <p>（院内感染対策について） 継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催） ・ICT 合同カンファレンス（偶数月参加） ・ICT ラウンド（毎週 1 回開催） ・感染勉強会 9/26 138 名参加、9/28 58 名参加 <p>（院内感染対策に係る地域医療連携） ・合同カンファレンス 6/10 9/3 開催</p>	<p><病院事業計画との対比></p> <table border="1" data-bbox="1561 189 2297 315"> <thead> <tr> <th>病院事業計画</th> <th>平成 30 年度中間報告</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リスクマネジメント委員会</td> <td>医療安全カンファレンス</td> </tr> <tr> <td>医療安全推進委員会</td> <td>医療安全管理委員会</td> </tr> <tr> <td>感染防止委員会</td> <td>院内感染対策委員会</td> </tr> </tbody> </table> <p><医療安全管理委員会> 医療安全管理委員会は、委員長を副院長、副委員長を看護部長とし、その他、医師、看護師、コメディカルの各部門の責任者で構成されています。 医療安全管理委員会では、院内でのインシデント(ヒヤリハット)・アクシデント事例の情報共有と対策を検討しています。 通常想定されないようなインシデント事例やアクシデント事例が発生した場合は、臨時に医療安全管理委員会を開催するとともに、生駒市に報告しています。</p> <p><医療安全カンファレンス> 医療安全管理委員会の下に設置し、前週のインシデントレポートについて参加者が報告・情報共有・対策等を検討しています。</p> <p><医療安全ラウンド> ICTラウンドと一体的に実施することになりました。</p> <p><安全管理マニュアル> 各部門に医療安全管理委員(リスクマネージャー)を置き、各部門で作成した詳細マニュアルを運用している。 (転倒転落、患者確認、口頭指示、体内遺残防止、診断検査の重大な結果報告、手術患者・手術部位の誤認防止、摘出された臓器・組織・検体の取扱など)</p> <p><医療安全勉強会> E-ラーニングとは、インターネットを介してのパソコン等でのビデオ講習で、テーマは、「医療安全の基本を知る」で、確認試験があります。</p> <p><院内感染対策委員会（ICT）> 院内感染対策委員会では、感染発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討を行っています。</p> <p><ICT 合同カンファレンス> 近隣の徳洲会グループ病院と合同で、近隣地域の感染症発生状況や各種サーベイランス等の討議報告を行っています。</p> <p><ICTラウンド（医療安全ラウンドと一体的に実施）> 各部署を巡回し、医療事故やインシデントが起きやすい環境（物品の配置等）を指摘し、各委員会で報告し、改善を促す活動のことです。</p> <p><感染勉強会> 9/26、9/28「抗菌薬と耐性菌」 講師 市立病院 薬剤部 検査科</p> <p><院内感染対策に係る地域連携> 院内感染対策に係る地域連携として、看護師、薬剤師、検査技師で構成する感染防止対策チームが、専任の感染管理者を有する白庭病院を中心とした合同カンファレンスに、東生駒病院、高の原中央病院とともに参加しました。</p>	病院事業計画	平成 30 年度中間報告	リスクマネジメント委員会	医療安全カンファレンス	医療安全推進委員会	医療安全管理委員会	感染防止委員会	院内感染対策委員会	<p>○院内における医療安全管理の取組が適正に行われている。</p> <p>○臨時に医療安全管理委員会を開催しなければならないようなインシデント・アクシデント事例が発生した場合の市への報告など、市との情報共有・連携体制が構築されている。</p> <p>○下半期中には、インシデント・アクシデント件数の包括的公表を予定している。</p> <p>○感染対策に関する市内病院間の相互理解や情報共有を行うことで、感染対策に係るレベルアップを進めている。</p>
病院事業計画	平成 30 年度中間報告											
リスクマネジメント委員会	医療安全カンファレンス											
医療安全推進委員会	医療安全管理委員会											
感染防止委員会	院内感染対策委員会											

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業計画	平成 30 年度 中間報告	平成 30 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与 地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。</p> <p>地域医療の支援に対する取組</p> <p>●在宅支援機能の充実 地域連携パスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪事に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。</p> <p>●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。</p> <p>●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施 ・院内外の医療従事者に対する TCLS※又は AHABLS、AHAACLS トレーニング(ACLS に相当する指定管理者のプログラム)の継続的実施(2年に1回程度) ・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施(年2回程度)</p> <p>※TCLS 二次医療機関で行う救命救急における心肺蘇生法で、アメリカ心臓協会が認定しているコースである ACLS のガイドラインに基づいた実際の医療機器を使用したシミュレーション実習のこと。</p>	<p>基本方針 地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ること、地域医療の充実に貢献します。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。 地域連携パスについては、県の取組事例を参考に県や地域の医療機関、医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</p> <p>○開放型病床の設置について 開放型病床については、グループ病院の事例等を参考に、地域の医療機関や医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、TCLS(徳洲会二次救命処置法)などのプログラムの充実に図るとともに、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、PR や周知を強化します。</p> <p>・医療教育プログラム ・病診連携懇話会(再掲)</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ること、地域医療・介護連携の充実に図りました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 医療連携登録医や協力医療機関連携施設等の増に取り組み、登録医や連携施設等の患者、利用者の増悪時の受け入れを行いました。 (平成 30 年 9 月 30 日時点) ・医療連携登録医 65 施設・79 名 ・協力医療機関連携施設 45 施設</p> <p>・地域連携パスは未実施</p> <p>・退院支援チームは実施</p> <p>・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の委員として院長が参加</p> <p>・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会在宅医療介護推進部会及び入退院調整マニュアル運用ワーキンググループの委員として地域医療連携室のメディカルソーシャルワーカーが参加</p> <p>○開放型病床は未設置</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会を実施しました。また、地域の医療従事者にも参加を求め、医療教育プログラムを実施しました。</p> <p>・医療教育プログラム NCPR(新生児蘇生法)講習会 12 月開催予定 ALSO 8/4~8/5 に開催(36 名参加)</p> <p>・病診連携懇話会は来年度に開催予定</p>	<p><医療連携登録医></p> <table border="1" data-bbox="1561 205 2059 268"> <tr> <td></td> <td>H30中間</td> <td>H29</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>施設数</td> <td>65</td> <td>58</td> <td>7</td> </tr> </table> <p>医療連携登録医は、医療連携登録医申請書の提出によるもの。 65 施設の内、市内クリニックは 30 施設・36 名 全市内クリニック(86 施設)の 35% 医療連携登録医からの紹介件数 590(市内 365、市外 225)</p> <p><協力医療機関連携施設></p> <table border="1" data-bbox="1561 445 2059 508"> <tr> <td></td> <td>H30中間</td> <td>H29</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>施設数</td> <td>45</td> <td>43</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>協力医療機関連携施設(介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームなど)と、連携契約書を締結しています。 協力医療機関連携施設からの患者の搬送件数 24</p> <p><地域連携パス> 治療を行った病院と地域のかかりつけ医とが患者の診療情報を共有できる「診療計画表」のこと。専門的な治療や検査は病院が行い、日常の診療などは地域のかかりつけ医が行うなど、役割分担し、連携しながら治療を進めることで、患者が退院後も住み慣れた地域で、切れ目のない治療を受けることができます。 (各病棟に、専従の看護師または社会福祉士の配置が必要) 奈良県内では、がん(5 大がん)、脳卒中、急性心筋梗塞の 3 大疾病については、県下全域を対象として実施しており、糖尿病については、県内の二次医療圏毎で実施されています。</p> <p><退院支援チーム> 市立病院の医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーにより、患者の退院の計画を作成しています。 退院支援チームの実績(平成 30 年 4 月~9 月) 入退院支援加算 312、介護支援連携指導 144、退院時共同加算 28、退院時訪問指導 9、退院後訪問指導 6</p> <p><生駒市医療介護連携ネットワーク協議会> 6/16 部会報告 <生駒市医療介護連携ネットワーク協議会 在宅医療介護推進部会> 6/16 平成 29 年度活動報告・平成 30 年度スケジュール等 9/25 在宅医療・介護連携に関する実態等調査結果報告等</p> <p><開放型病床> ・患者のかかりつけ医と病院の医師が、共同して患者の治療を行える病床のこと。地域の先生方と連携して患者の治療にあたり、よりレベルの高い治療を目指すものです。 ・施設基準として、20 以上の診療所の医師登録、利用率 20%以上の実績が求められます。 ・グループ内病院：八尾、宇治、福岡等で事例あり</p> <p><NCPR(新生児蘇生法)> 標準的な新生児蘇生法の理論と技術を習熟することにより、新生児の救命と重篤な障害の回避が期待されるものです。</p> <p><病診連携懇話会> ・医療連携登録医をはじめとした生駒市内の診療所の医師を対象とした症例検討会の実施、市立病院への紹介件数や機器の共同利用実績の報告などを行うことにより、医療連携の推進を図るものです。 ・下半期において、市内等の診療所に対して、病診連携懇話会等に関するニーズ調査を地域医療連携室にて実施予定。 ①病診連携懇話会での症例検討会等 ②開放型病床のニーズ ③地域医療機関へ提供する医療教育プログラム</p>		H30中間	H29	増減	施設数	65	58	7		H30中間	H29	増減	施設数	45	43	2	<p>○在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院の役割を果たすため、市立病院と地域の医療機関等との連携が進められている。</p> <p>○生駒市医療介護連携ネットワーク協議会等、市の在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、市内の医療機関・介護事業所等のスタッフ間での「顔の見える」関係性づくりが進められている。</p> <p>○退院支援については、退院支援チームのほか入退院調整マニュアルの運用による在宅医療・介護連携の推進、患者の在宅への移行支援の体制づくりが進められています。</p> <p>課題 退院支援チーム等により入退院支援が行われており、医療連携登録医からの紹介患者の受け入れ、協力医療機関連携施設等からの急変時の搬送受け入れが行われているが、さらなる在宅支援機能の充実に向けて、地域の医療機関との連携を強化していく必要がある。</p> <p>○NCPR などの教育プログラムに、院内外の医療従事者などが参加している。</p> <p>課題 地域医療機関を対象にした医療教育プログラムや病診連携懇話会での症例検討会など、市内全体の地域医療の発展に寄与できるようなプログラム等の提供を行っていく必要がある。</p>
	H30中間	H29	増減																	
施設数	65	58	7																	
	H30中間	H29	増減																	
施設数	45	43	2																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業計画	平成 30 年度 中間報告	平成 30 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																												
<p>●周辺の他の医療機関との連携 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、引き続き医療機能等の情報提供等、入会審査に対応していきます。また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用を引き続き推進します。</p> <p>・オープン利用件数（年間） MRI 280 件 CT 80 件</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、積極的に PR します。 （平成 31 年 3 月 31 日時点） ・医療連携登録医 80 施設 ・協力医療機関連携施設 80 施設</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制を重視し、紹介された患者の受入に努めるとともに、「地域のかかりつけ医」への逆紹介を促進できるよう手続きの簡略化を検討します。 ・紹介率 45% ・逆紹介率 20%</p> <p>地域連携室の移動により、地域の先生方が気軽に来院してそこで情報共有ができる体制を整備します。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能や実績に関する情報を提供しました。 地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用を引き続き実施しました。</p> <p>・医療機器のオープン利用件数（4～9 月） MRI 141 件（全利用件数 1,153 件） CT 45 件（全利用件数 3,174 件） 内視鏡 12 件（全利用件数 872 件） エコー 6 件（全利用件数 1,837 件）</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、登録のメリットを PR しました。 （平成 30 年 9 月 30 日時点） ・医療連携登録医 65 施設・79 名 ・協力医療機関連携施設 45 施設</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制を重視し、紹介された患者の受入に努め、病状の安定した患者は、積極的に「地域のかかりつけ医」へ逆紹介を行いました。 ・紹介率 33.3% ・逆紹介率 13.8% ・地域（市内）医療機関の市立病院利用率 77.9%</p>	<p><医師会へ提供している情報> 市立病院の外来予定表、当直表、オンコール表など</p> <p><医療機器のオープン利用></p> <table border="1" data-bbox="1567 289 2071 451"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MRI</td> <td>141</td> <td>129</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>45</td> <td>29</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>内視鏡</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>エコー</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>△ 3</td> </tr> </tbody> </table> <p><医療連携登録医></p> <table border="1" data-bbox="1567 506 2071 562"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>65</td> <td>58</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療連携登録医は、医療連携登録医申請書の提出によるもの。 65 施設の内、市内クリニックは 30 施設・36 名 全市内クリニック（86 施設）の 35%</p> <p><協力医療機関連携施設></p> <table border="1" data-bbox="1567 743 2071 800"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>45</td> <td>43</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>協力医療機関連携施設（介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームなど）と、連携契約書を締結している。</p> <p><紹介率・逆紹介率等></p> <table border="1" data-bbox="1567 953 2208 1102"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>33.3</td> <td>31.5</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>13.8</td> <td>16.0</td> <td>△ 2.2</td> </tr> <tr> <td>地域(市内)医療機関の市立病院利用率</td> <td>77.9</td> <td>67.1</td> <td>10.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>・紹介率（紹介患者数＋救急患者数）÷初診患者数 （1,222+917）÷6,420 = 33.3% ・逆紹介率 逆紹介患者数÷初診患者数 886 ÷ 6,420 = 13.8% ・地域(市内)医療機関の市立病院利用率 市内で紹介を受けた医科診療所数÷市内医科診療所数 67÷86 = 77.9%</p> <p><地域医療連携室>（平成 30 年 9 月 30 日） ・看護師 1 名 ・メディカルソーシャルワーカー 2 名 ・事務員 1 名</p> <p><入退院支援加算></p> <table border="1" data-bbox="1567 1562 2089 1627"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>312</td> <td>160</td> <td>152</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成 30 年 8 月からは入退院支援加算 2 から入退院支援加算 1へ変更 ・3 日以内に退院困難な患者・家族と面談、7 日以内に患者・家族と面談、7 日以内にカンファレンスを実施などの条件を満たせば、入退院支援加算 2 から 1 へとなる。</p> <p><やまと西和ネット> ・西和医療圏（生駒市他 1 市 7 町の医療機関、介護事業所を利用される方の病气、薬などの情報を共有（事務局：近畿大学奈良病院内、一般社団法人西和医療圏地域医療介護連携推進協議会） ・データ連動システムの構築中で来年度参加予定</p>		H30中間	H29中間	増減	MRI	141	129	12	CT	45	29	16	内視鏡	12	8	4	エコー	6	9	△ 3		H30中間	H29	増減	施設数	65	58	7		H30中間	H29	増減	施設数	45	43	2		H30中間	H29	増減	紹介率	33.3	31.5	1.8	逆紹介率	13.8	16.0	△ 2.2	地域(市内)医療機関の市立病院利用率	77.9	67.1	10.8		H30中間	H29中間	増減	件数	312	160	152	<p>○前年度と比較して、医療機器のオープン利用件数が増加している。市立病院の医療機器を地域の診療所等が利用することにより、医療連携が推進されている。</p> <p>○前年度と比較して、医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数が増加している。市立病院の医療連携登録医、協力医療機関連携施設として登録することで、市立病院と地域の医療機関等との連携が広がっている。</p> <p>課題 地域医療機関との病病・病診連携を推進するためには医師会との連携は不可欠であり、引き続き医師会への入会審査に対応していく必要がある。 また、患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介していく必要がある。</p>
	H30中間	H29中間	増減																																																													
MRI	141	129	12																																																													
CT	45	29	16																																																													
内視鏡	12	8	4																																																													
エコー	6	9	△ 3																																																													
	H30中間	H29	増減																																																													
施設数	65	58	7																																																													
	H30中間	H29	増減																																																													
施設数	45	43	2																																																													
	H30中間	H29	増減																																																													
紹介率	33.3	31.5	1.8																																																													
逆紹介率	13.8	16.0	△ 2.2																																																													
地域(市内)医療機関の市立病院利用率	77.9	67.1	10.8																																																													
	H30中間	H29中間	増減																																																													
件数	312	160	152																																																													
<p>●地域医療連携推進のための組織・体制及び方法の整備 院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。 この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等提供を行ないます。 また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。</p>	<p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員（看護師 1 名・メディカルソーシャルワーカー 2 名・事務職員 2 名）による、円滑な紹介・逆紹介体制を充実します。 専任職員が地元医療機関を積極的に訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行ないます。 地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築については、やまと西和ネットへの参加の方向で取り組みます。 市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図ります。</p>	<p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 10 月から非常勤職員 1 名、来年 4 月から常勤職員 1 名増員予定。</p> <p>地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築については、やまと西和ネットへの参加の方向で取り組みました。 市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図りました。</p>																																																														

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業計画	平成 30 年度 中間報告	平成 30 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																																																																																																									
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。</p> <p>●救急医療体制 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24 時間体制での救急受入れをします。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="121 804 566 1041"> <thead> <tr> <th>診療分野</th> <th>稼働内容</th> <th>稼働回数(1月あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科系</td> <td>市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>内科系 5回</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td></td> <td>外科系 5回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小児科</td> <td>奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td> <td>休日 2回 夜間 2回</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の二次救急)</td> <td>10回(※1)</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(※2)</td> <td>奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加</td> <td>10回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 現在、休日夜間応急診療所(メディカルセンター)で小児科医師が当直している火・木・土・日(うち火・木は 22:00～24:00 の当直)以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は 20 時から 24 時までは総合診療医を配置します。ただし、開院後 3 年を目途に小児科医師を 1 名増員することで小児救急の充実を図ります。</p> <p>(※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合は NICU を有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。</p>	診療分野	稼働内容	稼働回数(1月あたり)	内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回	外科系		外科系 5回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の二次救急)	10回(※1)	産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10回	<p>基本方針 救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。 奈良県総合医療センター等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 2,000 件 救急応需率 90.0% 消防本部救急隊との意見交換会 <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップの役割を果たします。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、奈良県との情報交換をしながら、小児科常勤医師の増員に努めます。</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制のバックアップの役割を果たします。</p>	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を継続するとともに、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に取り組みました。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 917 件(市内 553 件、市外 364 件) 救急応需率 93.8% <p>・下半期に市主催の市内等病院との意見交換会に参加予定</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップの役割を果たしました。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に参加し、情報交換を行うとともに、小児科常勤医師の確保に努めています。</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な県からの参加要請に対応できるように、産婦人科の常勤医師のさらなる確保に努めています。</p>	<p><救急要請件数></p> <table border="1" data-bbox="1564 197 2068 270"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>978</td> <td>1,096</td> <td>△ 118</td> </tr> </tbody> </table> <p><救急受入件数></p> <table border="1" data-bbox="1564 312 2068 438"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>551</td> <td>559</td> <td>△ 8</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>366</td> <td>384</td> <td>△ 18</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>917</td> <td>943</td> <td>△ 26</td> </tr> </tbody> </table> <p><救急応需率></p> <table border="1" data-bbox="1564 480 2279 554"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入件数÷救急要請件数</td> <td>93.8%</td> <td>86.0%</td> <td>7.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p><ウォークイン患者受入件数></p> <table border="1" data-bbox="1564 596 2068 680"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>1,386</td> <td>1,057</td> <td>329</td> </tr> <tr> <td>月平均</td> <td>231.0</td> <td>176.2</td> <td>54.8</td> </tr> </tbody> </table> <p><救急患者の転送件数></p> <table border="1" data-bbox="1564 722 2068 890"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入件数</td> <td>917</td> <td>943</td> <td>△ 26</td> </tr> <tr> <td>県内転送</td> <td>28</td> <td>19</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>県外転送</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>△ 3</td> </tr> <tr> <td>転送計</td> <td>35</td> <td>29</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p><救急患者の転送率></p> <table border="1" data-bbox="1564 932 2068 1058"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内転送</td> <td>3.1%</td> <td>2.0%</td> <td>1.1%</td> </tr> <tr> <td>県外転送</td> <td>0.8%</td> <td>1.1%</td> <td>△0.3%</td> </tr> <tr> <td>転送計</td> <td>3.9%</td> <td>3.1%</td> <td>0.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p><参考：生駒市消防の救急搬送状況(全時間帯)>※</p> <table border="1" data-bbox="1564 1100 2175 1226"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>68.9%</td> <td>67.8%</td> <td>1.1%</td> </tr> <tr> <td>市立病院</td> <td>24.4%</td> <td>26.0%</td> <td>△1.6%</td> </tr> <tr> <td>その他病院</td> <td>44.5%</td> <td>41.8%</td> <td>2.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p><参考：生駒市消防の救急搬送状況(当直時間帯)>※</p> <table border="1" data-bbox="1564 1268 2175 1394"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>66.1%</td> <td>64.5%</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>市立病院</td> <td>26.4%</td> <td>26.5%</td> <td>△0.1%</td> </tr> <tr> <td>その他病院</td> <td>39.7%</td> <td>38.0%</td> <td>1.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※市消防本部提供、速報値</p> <p><市内輪番病院のバックアップ状況></p> <table border="1" data-bbox="1564 1499 2145 1562"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックアップ率</td> <td>59%</td> <td>50%</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>計算式 市立病院受入件数÷市内等輪番病院当番日拒否件数 (H30 中間：63 件÷107 件、H29 中間：60 件÷119 件)</p> <p>・7/27 平成 30 年度第 1 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席。</p>		H30中間	H29中間	増減	件数	978	1,096	△ 118		H30中間	H29中間	増減	市内	551	559	△ 8	市外	366	384	△ 18	計	917	943	△ 26		H30中間	H29中間	増減	救急受入件数÷救急要請件数	93.8%	86.0%	7.8%		H30中間	H29中間	増減	件数	1,386	1,057	329	月平均	231.0	176.2	54.8		H30中間	H29中間	増減	受入件数	917	943	△ 26	県内転送	28	19	9	県外転送	7	10	△ 3	転送計	35	29	6		H30中間	H29中間	増減	県内転送	3.1%	2.0%	1.1%	県外転送	0.8%	1.1%	△0.3%	転送計	3.9%	3.1%	0.8%		H30中間	H29中間	増減	市内	68.9%	67.8%	1.1%	市立病院	24.4%	26.0%	△1.6%	その他病院	44.5%	41.8%	2.7%		H30中間	H29中間	増減	市内	66.1%	64.5%	1.6%	市立病院	26.4%	26.5%	△0.1%	その他病院	39.7%	38.0%	1.7%		H30中間	H29中間	増減	バックアップ率	59%	50%	9%	<p>○当直可能な常勤医師を確保したことによって、常勤医師が毎日当直しており、救急の受入体制が整っている。</p> <p>○市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップの役割を果たしている。</p> <p>課題 市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップに努めているが、輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関へ協議を行う必要がある。 小児科の常勤医師は十分に確保できていないことから、北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、小児科の常勤医師を増員する必要がある。</p>
診療分野	稼働内容	稼働回数(1月あたり)																																																																																																																																											
内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回																																																																																																																																											
外科系		外科系 5回																																																																																																																																											
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回																																																																																																																																											
	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の二次救急)	10回(※1)																																																																																																																																											
産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10回																																																																																																																																											
	H30中間	H29中間	増減																																																																																																																																										
件数	978	1,096	△ 118																																																																																																																																										
	H30中間	H29中間	増減																																																																																																																																										
市内	551	559	△ 8																																																																																																																																										
市外	366	384	△ 18																																																																																																																																										
計	917	943	△ 26																																																																																																																																										
	H30中間	H29中間	増減																																																																																																																																										
救急受入件数÷救急要請件数	93.8%	86.0%	7.8%																																																																																																																																										
	H30中間	H29中間	増減																																																																																																																																										
件数	1,386	1,057	329																																																																																																																																										
月平均	231.0	176.2	54.8																																																																																																																																										
	H30中間	H29中間	増減																																																																																																																																										
受入件数	917	943	△ 26																																																																																																																																										
県内転送	28	19	9																																																																																																																																										
県外転送	7	10	△ 3																																																																																																																																										
転送計	35	29	6																																																																																																																																										
	H30中間	H29中間	増減																																																																																																																																										
県内転送	3.1%	2.0%	1.1%																																																																																																																																										
県外転送	0.8%	1.1%	△0.3%																																																																																																																																										
転送計	3.9%	3.1%	0.8%																																																																																																																																										
	H30中間	H29中間	増減																																																																																																																																										
市内	68.9%	67.8%	1.1%																																																																																																																																										
市立病院	24.4%	26.0%	△1.6%																																																																																																																																										
その他病院	44.5%	41.8%	2.7%																																																																																																																																										
	H30中間	H29中間	増減																																																																																																																																										
市内	66.1%	64.5%	1.6%																																																																																																																																										
市立病院	26.4%	26.5%	△0.1%																																																																																																																																										
その他病院	39.7%	38.0%	1.7%																																																																																																																																										
	H30中間	H29中間	増減																																																																																																																																										
バックアップ率	59%	50%	9%																																																																																																																																										

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業計画	平成 30 年度 中間報告	平成 30 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																														
<p>●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとりま ず。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td> </tr> <tr> <td>北和小児科二次輪番日</td> <td>通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日</td> <td>通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人科一次救急当番日</td> <td>通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直</td> </tr> </tbody> </table>		人員体制	通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直	休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に脳神経外科の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</p> <p>(夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師 1 名の夜間時間外担当医及び 1 名の常勤当直医 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2・3 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備しています。土曜日、日曜日、祝日を含めた当直・オンコール体制の充実を図りました。</p> <p>(休日夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2・3 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 	<p><医師のオンコール体制> 消化器内科、循環器内科、外科、形成外科、腎臓泌尿器科、産婦人科、小児科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急受入した患者を検査した結果、脳神経外科の治療が必要な場合は、県内外の他病院との連携体制で対応 <p>連携実績</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>奈良県総合医療センター</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>市立奈良病院</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>郡山青藍病院</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>近畿大学医学部奈良病院</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>西奈良中央病院</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>野崎徳洲会病院</td> <td>5 件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・当直時間帯での CT、MRI 検査、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術の各実績 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>381 件</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>30 件</td> </tr> <tr> <td>心臓カテーテル検査</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>内視鏡検査</td> <td>5 件</td> </tr> </tbody> </table>	奈良県総合医療センター	2 件	市立奈良病院	1 件	郡山青藍病院	2 件	近畿大学医学部奈良病院	1 件	西奈良中央病院	1 件	野崎徳洲会病院	5 件	CT	381 件	MRI	30 件	心臓カテーテル検査	2 件	内視鏡検査	5 件	<p>○医師、看護師、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員の 24 時間 365 日の救急受入体制が維持されている。当直が可能な常勤医師を確保したことにより、常勤医師の土曜日、日曜日、祝日を含めた当直体制が確保できている。</p> <p>課題 当直・オンコール体制に参加できる脳神経外科、整形外科の常勤医師を確保する必要がある。</p> <p>○24 時間 365 日、病院事業計画に掲げる CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制が継続されている。</p> <p>○24 時間 365 日、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術が対応可能な体制が維持されている。</p>
	人員体制																																	
通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制																																	
北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直																																	
休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置																																	
北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直																																	
奈良県総合医療センター	2 件																																	
市立奈良病院	1 件																																	
郡山青藍病院	2 件																																	
近畿大学医学部奈良病院	1 件																																	
西奈良中央病院	1 件																																	
野崎徳洲会病院	5 件																																	
CT	381 件																																	
MRI	30 件																																	
心臓カテーテル検査	2 件																																	
内視鏡検査	5 件																																	
<p>●診療科毎の対応レベル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対応レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>小児科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td> </tr> <tr> <td>産婦人科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td> </tr> </tbody> </table>		対応レベル	内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制を充実します。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。</p>	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続した。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制を維持しています。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応しています。</p>																						
	対応レベル																																	
内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)																																	
外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)																																	
小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可																																	
産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)																																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業計画	平成 30 年度 中間報告	平成 30 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																				
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。</p>	<p>基本方針 小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備を行います。</p> <p>○小児医療体制について ・医師の人員体制は、常勤医師の確保により、常勤医師 2 名体制を目指します。 ・北和小児科二次輪番体制への参加を目指します。 ・小児アレルギー外来など、小児医療分野の拡充を検討します。</p>	<p>小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。</p> <p>○小児医療体制について ・常勤医師 2 名体制を目指し、1 名は平成 30 年 1 月から着任、もう 1 名の確保に努めています。 ・稼動病床数は 5 床 ・北和小児科二次輪番体制への参加はできていません。 ・下半期に開設を予定しているアレルギー外来については、受診患者及び市内小児科診療所の要望を勘案して、開設する予定でず。</p>	<p>・小児科外来診療は、月～金までの間、常勤 1 名 非常勤医師 2 名による一診体制</p> <p>・7/27 平成 30 年度第 1 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席。</p> <p>・未熟児出産に関しては、NICU をもつ近畿大学医学部奈良病院と連携している。</p>	<p>○新生児の先天異常等の治療における小児科と形成外科等他科への円滑な連携体制が整っている。</p> <p>○市立病院の産婦人科で出生された新生児の診察や 1 ヶ月検診は、小児科医が担当している。また、小児科の介入が必要な新生児(低出生体重児、黄疸等)の診察、治療も行っており、安心して出産できる体制を整えている。</p> <p>課題 小児救急を実施するためには、当直が可能な常勤医師を複数人確保する必要がある。</p>																																																				
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急用医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。</p>	<p>基本方針 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。</p> <p>○災害時医療体制の確立について 生駒市立病院災害対策マニュアルに沿って現場スタッフによる実地訓練を行います。</p> <p>・消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練)</p> <p>・防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練・机上訓練)</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制整備をはじめ、機能の強化に努めました。</p> <p>○災害時医療体制の確立について ・消防訓練 上半期なし 下半期に実施予定。 ・4/27 院内防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練)</p>	<p><防災訓練></p> <p>・4/27 実施</p> <p>・医師、看護師、コメディカル、事務職など 120 人の職員と傷病者役として 40 人超の自治会関係者等が参加</p> <p>・災害本部、災害センターの設置、トリアージ(重症度、緊急度選別)場所の確保、救急患者の受入準備等実施</p>	<p>○大規模災害時の医療救護の実地訓練を地元自治会関係者とともに行うことにより、医療救護体制の整備に努められている。</p> <p>課題 災害対策マニュアルに沿って定期的に訓練を行い、生駒市で災害が発生した場合の医療救護体制を整えている。今後は、大規模災害時の市や医師会をはじめとする市内医療機関との連携体制を構築する必要がある。</p>																																																				
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。</p> <p>●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。(講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。) また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。</p>	<p>基本方針 市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。</p> <p>また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜拡充していきます。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民への予防医療の啓発として、認知症やうつ病、発達障害など、市民の要望が多いものの市立病院スタッフで対応できない分野について、市が実施する医療講演会等を支援します。</p> <p>乳がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、実施を検討します。</p> <p>・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む) 月 4 回程度実施</p> <p>・市民健診 胃内視鏡検診 160 件 大腸がん検診 200 件 肝炎ウイルス検診 50 件 特定健診 1,000 件 一般健診 550 件 人間ドック・脳ドック 500 件 その他団体健診等 1,000 件</p> <p>・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 250 件 肺炎球菌 180 件</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。</p> <p>また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜実施しました。</p> <p>なお、今年度中にマンモグラフィの導入を予定しており、次年度以降のマンモグラフィによる乳がん検診の実施を目指します。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 胃がん検診については、昨年 9 月 1 日から胃カメラ検診を実施できるようになりました。</p> <p>・医療講演会(再掲) 23 講座 参加者 1,008 名 出張講演会の募集を開始しています。</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 81 件 胃がん検診 89 件 肝炎ウイルス検診 7 件 特定健診 348 件 一般健診 387 件 生活保護者等の健康診査 7 件 人間ドック・脳ドック 257 件 その他団体健診等 1,305 件</p> <p>・高齢者インフルエンザ予防接種は下半期に実施予定</p>	<p><医療講演会></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>△ 2</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,008</td> <td>1,262</td> <td>△ 254</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療講演会の内容例</p> <p>・腎臓病教室 ・糖尿病について ・高齢者の低栄養フレイルについて ・はじめてのフットケア(図書館)</p> <p><市民健診></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30中間</th> <th>H29中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>81</td> <td>47</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>胃がん(胃内視鏡)検診※1</td> <td>89</td> <td>14</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>△ 5</td> </tr> <tr> <td>特定健診※2</td> <td>348</td> <td>427</td> <td>△ 79</td> </tr> <tr> <td>一般健診</td> <td>387</td> <td>324</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>生活保護者等の健康診査※3</td> <td>7</td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>人間ドック・脳ドック</td> <td>257</td> <td>247</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>その他団体健診等</td> <td>1,305</td> <td>876</td> <td>429</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,481</td> <td>1,947</td> <td>534</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 生駒市指定医療機関数：4 ※2 生活習慣病を予防・早期発見するための健診です。 ※3 健康増進法施行規則第 4 条の 2 第 4 号に定める健康診査</p>		H30中間	H29中間	増減	件数	23	25	△ 2	参加者数	1,008	1,262	△ 254		H30中間	H29中間	増減	大腸がん検診	81	47	34	胃がん(胃内視鏡)検診※1	89	14	75	肝炎ウイルス検診	7	12	△ 5	特定健診※2	348	427	△ 79	一般健診	387	324	63	生活保護者等の健康診査※3	7		7	人間ドック・脳ドック	257	247	10	その他団体健診等	1,305	876	429	合計	2,481	1,947	534	<p>○市立病院の医師やコメディカルによる生活習慣病の予防に向けた医療講演会が定期的に開催されている。</p> <p>○市内で対応できる医療機関が少ない胃カメラ検診を実施することができ、市民の疾病予防、疾病の早期発見、早期治療に取り組んでいる。</p> <p>課題 市民の疾病予防を目的として医療講演会を開催しているが、市立病院として市民との交流、健康づくりを推進するため、自治会等各種団体への出張講座も増やしていく必要がある。 市民健診の件数が増加しているが、地域の診療所では対応できない、または対応できる医療機関が少ない二次健診等を充実させていく必要がある。</p>
	H30中間	H29中間	増減																																																					
件数	23	25	△ 2																																																					
参加者数	1,008	1,262	△ 254																																																					
	H30中間	H29中間	増減																																																					
大腸がん検診	81	47	34																																																					
胃がん(胃内視鏡)検診※1	89	14	75																																																					
肝炎ウイルス検診	7	12	△ 5																																																					
特定健診※2	348	427	△ 79																																																					
一般健診	387	324	63																																																					
生活保護者等の健康診査※3	7		7																																																					
人間ドック・脳ドック	257	247	10																																																					
その他団体健診等	1,305	876	429																																																					
合計	2,481	1,947	534																																																					

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業計画	平成 30 年度 中間報告	平成 30 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。</p>	<p>基本方針 市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み 入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見及び改善の取組みについて、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知します。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査(中間報告を含む)について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立病院管理運営協議会 入院・外来患者アンケート調査(再掲) ご意見箱の内容に対する対応(再掲) <p>○市民交流事業について 市立病院での院内コンサートなど市民交流事業の開催について、広く広報します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康フェスティバル 院内コンサート 	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民参加による病院運営を行いました。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み ・市立病院管理運営協議会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の意見による改善の取組について、1階中央待合室の掲示板に掲示するとともに、情報発信モニターに掲載しました。また、生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。 <p>○市民交流事業について 市立病院ロビーコンサートなど市民交流事業を広く市民に周知し、実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康フェスティバル 6/3 約 400 名参加 市立病院ロビーコンサート 12 月 クリスマスコンサート予定 <p>○市民ボランティア ・市立病院 4 階中庭の植栽の手入れ等 ・元看護師が 2 階形成外科において、フットケア外来の患者の誘導にあたっている。 ・下半期にボランティア活動に係る規約を作成予定</p>	<p><生駒市病院事業推進委員会> ・ 9/7 第 21 回会議開催 会議内容 ・生駒市立病院 平成 29 年度実施状況調査報告書(3ヶ年のまとめ)について ・生駒市における地域医療の現況等報告書について</p> <p><生駒市立病院管理運営協議会> ・ 4/10 平成 30 年度第 1 回会議開催 会議内容 平成 30 年度生駒市立病院事業計画書(案)について ・ 7/26 平成 30 年度第 2 回会議開催 会議内容 平成 29 年度実施状況調査報告書(案)について</p> <p><アンケートのご意見> ・雰囲気や先生、看護師が明るく、快適に過ごせた。 ・丁寧に耳を傾けてもらい、不安が解消された。 ・受付から受診まで付き添ってもらい、ありがたかった。 ・親切に接していただいた。 ・病棟の乾燥機の位置が高く使いにくい。(看護師やスタッフが要請によりお手伝いすることにしました。)</p> <p><ご意見箱の対応例> ・エレベーター乗降口付近に各フロアの診療科案内図を設置 ・地下駐車場に駐車場所の案内を表示 ・デイルーム 4ヶ所に時計を設置 ※ご意見箱の意見及び改善の取組について、下半期中に、ホームページでの公表を予定しています。</p> <p><健康フェスティバル(地域医療連携フェスタから名称変更)> ・医療講演会(市立病院の医師 3 名) 「がん早期発見について」 「食物アレルギーについて」 「形成外科ってどんな科～多様な形成外科の治療～」 ・市内小学校ブラスバンド部によるコンサート ・健康チェックコーナー、救命体験 ・薬剤師体験(お菓子を使った錠剤や散剤の分包体験等) ・医療機器展示(電気メス、気管挿管、人工呼吸器など)等</p>	<p>○病院事業推進委員会や生駒市立病院管理運営協議会では、市民委員も参画しており、市立病院からの情報を提供し、委員からの意見・提案を受け、計画等に反映させるなど、市民参加の病院運営につながっている。</p> <p>○ご意見箱の設置により、患者や利用者の声に耳を傾け、迅速に対応することで、市民満足度の向上につなげていく仕組みができています。</p> <p>○健康フェスティバルは、健康増進に関する市民の知識と理解を深めるとともに、子ども達が医療職を目指すきっかけづくりの場を提供している。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO(国際標準化機構) 14000 シリーズの認証取得を目指す。</p>	<p>基本方針 引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化します。 日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。 	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスに取組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 引き続き日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化に努めました。 		<p>○市組織と同等の取組みが実施されている。</p>
			<p><院内保育所> 院内 7 階バンビ保育園 ・保育時間 日勤 8:00~17:30 (365 日) 夜勤 16:00~ 翌日 10:00 (週 2 回 火・金) ・保育園児 対象 生後 2 か月~10 歳 (医師・看護職員のお子さん) ・保育士 人員 常時 2 名以上</p> <p>実績見込 ・保育児童数 一日平均 7 人 ・24 時間保育運営日数 31 日 ・休日保育運営日数 31 日</p>	

収支

(単位 千円)

平成30年度事業計画 (平成30年9月末)		平成30年度中間報告		計画と報告の差額	
医業収入	1,748,023	医業収入	1,640,765	医業収入	△ 107,258
医業費用	1,757,646	医業費用	1,696,450	医業費用	△ 61,196
医業利益	△ 9,623	医業利益	△ 55,685	医業利益	△ 46,062
その他費用	17,460	その他費用	17,468	その他費用	8
医業外収益	14,658	医業外収益	20,671	医業外収益	6,013
医業外費用	3,888	医業外費用	4,703	医業外費用	815
経常利益	△ 16,313	経常利益	△ 57,185	経常利益	△ 40,872